国際交流ひろば 12月号

KAGOSHIMA INTERNATIONAL ASSOCIATION NEWS

VOL. 259/ December 2022

鹿児島県国際交流協会からのお知らせ

12/2(金) 外国人住民からの相談対応研修

13:30～16:00

@県民交流センター 大研修室第 2

対象：自治体職員等

定員：40 名（要申込・参加費無料）

【問合せ先】099-221-6620

12/10(土) 韓国文化紹介講座 in 南九州市

「お隣の国　韓国について学んでみましょう!」

10:00～13:00

@南九州市知覧保健センター

参加費：500 円（要申込）

【問合せ先】

南九州市まちづくり推進課　0993-83-2511

1/21(土) 英語絵本のよみかたり講座 in いちき串木野市

14:00～15:00

@いちき串木野市防災センター

対象：3～5 歳までのお子さま

定員：親子 8 組（要申込・参加費無料）

【問合せ先】

いちき串木野市国際交流協会　0996-33-5628

1/28(土) 鹿児島で世界を語ろう! 外国人による日本語スピーチコンテスト観覧者募集!

13:30～16:30

@県民交流センター 県民ホール

※観覧の方のお申込は不要です。
当日直接会場にお越しください。(会場定員:170 名)

【問合せ先】099-221-6620

2/23(祝) ベトナム人生活専門相談員による ベトナム理解講座

14:00～15:00

@県民交流センター

※当講座の詳細については,別途チラシ,
当協会 HP/FB にてお知らせしますので,
そちらをご確認ください。

【問合せ先】099-221-6620

1～2 月 民間国際交流活動助成金交付 上期受付開始!!

（※令和 5 年度上期（4 月～9 月）実施事業対象）

(公財)鹿児島県国際交流協会では,国際交流等の活動に対し,
助成をする支援事業を行っています。

申請受付期間:1/4(水)～2/28(火)

◆当協会の HP で助成金交付対象となる団体
や事業についてご案内しています。詳しくは→

【問合せ先】099-221-6620

「Kagoshima で暮らして」

鹿児島県の在住外国人の数は，年々増加傾向にあります。『国際交流ひろば』では，鹿児島で頑張る在住外国人の鹿児島での暮らし等についてご紹介しています。

今回は，今年の９月に來鹿されたばかりのイギリス出身 鹿児島県国際交流員 スノーデン・ジョセフさんと，同じく９月から当協会外国人総合相談窓口で生活相談専門員として新たに着任された ブーテゥーリエンさんをご紹介します。

鹿児島県国際交流員
スノーデン・ジョセフ さん

出身地と日本に来たきっかけを教えてください。

出身は，イングランド北部のヨーク州にあるウェイクフィールドという街で，ロンドンから電車で2時間ほどの場所にあります。大学の3年間はケンブリッジに，その後4年間はヨーク州に戻って，リーズ大学の研究室でウイルスの構造についての研究をしました。私は理系の分野で研究をしていましたが，そこでいろんな国の人達と働くうちに，国際交流に力を入れたいと考えるようになりました。また妻が，日本生まれのイギリス育ちの日本人で，一緒に過ごす中で日本のことを知る機会が多く，日本語の勉強もしていたので，自然と日本を選んでいました。

鹿児島に来て驚いたことはありますか？

桜島です。火山があることは知っていましたが，あんなに近くて大きいとは思っていませんでした。

あと，鹿児島市の荒田八幡でギョーザの自動販売機，志布志でウナギの自動販売機を見た時は，驚きました。

それから，先日，鹿児島に来てから初めて美容室に行ったのですが，イギリスでは髪を切るのは15分くらいで終わりますが，日本の美容室は髪を洗ってくれたりマッサージをしてくれたり，とても丁寧でした。

鹿児島市に転入したときにもらったウエルカムチケット（公共施設の無料券）で水族館に行きましたが，平川動物公園にも行ってみたいです。

また，鹿児島は季節ごとにお祭りがたくさんあるので楽しみです。来年は，おはら祭で踊ってみたいです。

もうすぐクリスマスですね。
イギリスではクリスマスをどんな風に過ごしますか。

12月に入るとアドベントカレンダー（※クリスマスまでの日数をカウントするカレンダーで，12月1日から24日までが窓になっている）の窓を1日ずつ開けて，クリスマスを楽しみにしていました。最近では，チョコや香水などが入った色んなアドベンドカレンダーがありますね。

日本ではクリスマスイブが盛り上がると思いますが，イギリスでは12月25日の朝にツリーの下に置いてあるプレゼントを開けて，昼に家族や親しい人達と食事を楽しみます。クリスマスケーキは伝統的な食べ方があって，ドーム型のケーキにブランデーをかけて火をつけ，火が消えたら食べます。そして，午後3時からは，イギリス王室からのスピーチがあります。夜は，クラッカーやチーズのような軽いものと，モルドワインなどを楽しみます。

スノーデン家の
クリスマスランチの様子

今後の目標を教えてください。

鹿児島でいろいろなところに行ったり，貴重な経験をさせてもらっているので，さまざまな人と交流をして鹿児島の魅力を世界中の人に知ってもらいたいと思います。そして，いずれイギリスに戻った時，ここで学んだ国際交流のスキルを私の背景である理系の分野で生かしたいと思います。たとえば，イギリスと日本の研究室のコラボレーションとか，大学や研究開発に関わる企業をつなぐことができたらいいなと思っています。

(公財)鹿児島県国際交流協会
生活相談専門員
ブー テゥー リエン さん

出身地と日本に来たきっかけを教えてください。

ベトナムのハノイ出身です。大学では心理学を学びました。大学卒業後に稲盛アカデミーのベトナム事務所で働いている時に，鹿児島大学の教授と話す機会があって，まだいろいろと学びたいと思い鹿児島に来ました。

最初の 2 年間は，九州日本語学校で日本語を学び，その後，鹿児島大学で3年間地域生涯学習について学びました。

鹿児島に来て驚いたことはありますか？

ベトナムでは鶏肉を生で食べることはないので，鳥刺しにびっくりしました。

それから，ハノイは海が遠いのですが，鹿児島は普段から海鳥の声や潮風のかおりが感じられてとてもうれしいです。

また，鹿児島の住宅は庭に花を植えたり，外で植物の手入れをしている家が多いと思いました。あと，お祭りのふんどしにも驚きました。

鹿児島の食べ物で好きなものはありますか？

みかんが好きです。鹿児島のみかんは種類が多くてうれしいです。たんかんやぽんかんも大好きです。また，鹿児島の大根はやさしい香りで，甘くて大きくておいしいです。

私は，旦那さんと一緒に暮らして5年になりますが，お味噌汁だけはおいしく作れません。近所のおばさんや職場の人達に作り方を教えてもらうのですが，とても難しいです。

これからしたいことはありますか？

新年のお祝いはテトと言われる旧正月に盛大に行われます。12月31日から1月1日にかけては，年越しの花火が打ち上げられます。お正月などのお祝いごとには，バインチュン（Bánh chưng）・バインザイ（Bánh Dầy）という伝統料理を食べます。バインチュンは四角いちまきで「大地」を表し，バインザイは日本のお餅のようなもので「空」を表します。 また，ベトナム語で芽や蕾がついている木の枝は LỘC（ロック） と言います。また，幸運と幸福も LỘC と呼ばれます。新年には，芽や蕾がついている木の枝を家に持って帰るとともに，幸運と幸福を呼び寄せます。以前は、勝手に外にある木の枝を切っていましたが，最近は LỘC のために木を丸ごとを買います。

テトを祝う食卓の様子

今後の目標を教えてください。

今，生活相談専門員として働いているのですが，これからも人を助ける仕事を続けていきたいです。今まで勉強してきた心理学や地域社会生涯学習の知識も活かしていけると思います。

また，鹿児島が好きなので，長く暮らしたいと思っています。

「かごしまから見える世界」vol.二

かつてから外国との交流が盛んだった鹿児島。鹿児島に居ながらにして世界を感じられる場所をご紹介します。今回は，奄美大島の宇検村にある「伯国橋（ブラジル橋）」をご紹介します。

今夏、機会があって、鹿児島大学に留学しているブラジル日系3世の女性（ユカさん）が奄美大島の宇検村を訪問した。彼女の曾祖父母が宇検村湯湾の出身で、子供たち（つまり彼女の祖父母）を帯同して昭和32年にブラジルに移住していることから、そのふるさとを訪問したものである。

日本からブラジルへの移民は明治41年（1908年）の笠戸丸移民が最初だが、宇検村からも大正7年（1918年）に13家族54人が讃岐丸に乗って長崎港から渡航している。戦前戦後を通じて、宇検村からは多数の村民が移住しているが、その移住者たちの故郷への熱い思いがこもった「伯国橋（ブラジル橋）」についてご紹介したい。なお、本稿は、宇検村湯湾にお住まいで郷土の歴史を研究されている元田信有さんのお話を大いに参考にさせていただいた。

大正13年の移住者と親族ら

宇検村役場近くを流れる湯湾川には、現在、7つの橋が架かっているが、その中で上流から3番目にあるのが、幅約3m、コンクリートづくりの小さな「伯国橋（ブラジル橋）」。

第二次世界大戦後8年間、米国の信託統治を受けていた奄美では復興も進まず、荒廃していた。宇検村湯湾集落も殆どが戦災で焼け、橋は大水で壊れ落ち、家屋にしてもまだ藁葺き屋根の状態であった。その惨状を見かねて、故郷をなんとか助けたいとブラジルに移住した湯湾集落出身者たちが一つになり、奄美が日本復帰を果たした1954年、義援金（邦貨換算25万4,975円）を送ってきた。当時、国家公務員の月給が約1万円という時代にこの大きな寄付をいただいた集落では、区長を中心に使い道を協議し、まずは、集落の重要なインフラである橋の建設に充てることにした。とは言え、当時、村には建設業者などはいない。役場も他のいろいろな復興事業にてんてこ舞い。結局、橋の設計は役場の技術職員に依頼し、建設工事は土木工事の経験がある8名が請け負い、集落民も作業に参加した。ちなみに、冒頭のユカさんの曾祖父も請負人に名を連ねており、彼女も祖母からそのことを聞かされていたという。こうして完成した集落初のコンクリート製の橋は、集落民の総意で「伯国橋」と命名され、欄干には現在もその名がしっかりと刻まれている。建設費総額は、結局21万8,248円となり、義援金の残額は老人会及び地元の学校に寄付されている。

伯国橋建設に携わった方々

さて、こうして遠い海外からの熱烈な郷土愛で生まれた伯国橋は、集落民の往来に欠かせない存在となった。特に台風時の洪水災害の時などでも強靭なこの橋はびくともせず、避難や災害後の生活復旧に大きな役割を果たした。また、南の離島で夏場は猛烈な暑い日々が続くこの地域では、夕方、川面の涼を求める集落民がこの橋の上に筵を敷いて三々五々と集い、共に語らい、あるいは島唄の掛け合いを楽しんだ。さらに、子供たちにとってそこは、満潮時に川へ飛び込んで遊び、あるいは稲わらで作る縄ないの早さを友達と競うなど格好の娯楽場でも会った。この伯国橋は、単なる道路ではなく、集落の社交場であり、遊び場であり、中心であった。「集落の人たちにとって、いつまでもずっと記憶に残る場所である」と、元田さんは言う。

台風時（昭39）の伯国橋（手前）

ところで、そもそも、なぜ宇検村からたくさんの方々がブラジルに移住したのか。それについては、元田さんはこう述べる。明治期、宇検村は鰹漁で栄えており、人口も9,000人を超える賑わいだったが、何しろこの地は湾奥で平地が少なく過密状態で、村民は外向指向が強かったところに、ブラジル政府の移民募集に宇検村役場が主導する形で“村をあげて”組織的な移住者送り出しをやったことが理由として考えられると。

こうして現地に根付いた移住者たちと宇検村民との結びつきは、現在においても非常に強いものがある。例えば、日本の入管法改正により1990年代に多くの日系人が日本に「出稼ぎ」に来たが、その中の宇検村ゆかりの2世、3世の女性たちが、村の男性と結婚して島に暮らしており、ここがブラジルとの情報窓口にもなっているという。宇検村民にとって、ブラジルはまことに身近な「お隣」の感覚かもしれない。

今回、ユカさんの宇検村訪問に当たっては、村役場の人や親戚縁者の方々に多大な歓迎をしていただいたのはもちろんだが、中でも、御両親が宇検村出身でブラジルで生まれ育ち、結婚を機に村に移り住んだという日系2世の女性とそのご主人には、宇検村到着から最後の奄美空港出発まで、ずっとお世話になった。伯国橋は今となっては、幅3m、長さ4.5mのほんの小さな橋であるけれど、その歴史や携わった人たちの思いに触れると、この橋が集落民の心をつなぎ、そして、宇検村とブラジルとをつなぐ大きな大きな橋のように思えてきた。（完）

「伯国橋」欄干

世界各地で活躍する鹿児島ゆかりの方からのお便りです

世界あちこち便り

鹿児島市出身の 和田 由紀子 と申します。私は鹿児島にある開陽高校そして iBS 外語学院で海外に対する関心を高め，国際コミュニケーション能力の土台を作り，卒業後にイギリス，ノルウェー，ベトナム，東京で勉強・仕事をしてまいりました。

現在の職場の上司よりスカウトされ，2021 年11月からドイツ西部デュッセルドルフで人材紹介業の JAC Recruitment Germany にて勤務をしております。

私が住んでいるデュッセルドルフは，ドイツで16ある州のひとつ，ノルトライン=ヴェストファーレン州の州都です。世界で最も飲み屋が密集している場所として有名な旧市街のすぐそばにはライン川が流れています。2022 年時点で，人口約 64 万人（鹿児島市より少し多いくらいですね）の約 24%が外国人という国際都市で，首都ベルリン（約 357 万人）や港町ハンブルグ（約 179 万人），南のミュンヘン（約 156 万人）と比較をすればコンパクトな街です。

この街の大きな特徴は，実は日本とのつながりがとても強いということです。ヨーロッパでは2番目に大きいと言われる日本人コミュニティがあり（1番目はイギリス・ロンドンと言われています），ドイツ国内には2021年時点で 1,900 社以上の日系企業があるのですが，その内の約 400 社がデュッセルドルフ周辺に所在しています。ドイツといえば，メルセデス・ベンツやポルシェ，BMW など高級自動車を代表するメーカーが有名ですが，日系企業も自動車産業を中心とした製造業の会社が進出企業の内 53%を占めています。特にデュッセルドルフには日本人が 7,000 人以上住んでおり，日本食レストランはもちろん，スーパー，美容室，病院に幼稚園，お寺まであり，生活のインフラが整っています。旅行であれば英語でも十分過ごせますし，過ごし方によっては多少の英語と日本語で生活が可能です。

年一回デュッセルドルフで開催される Japan Tag（日本デー）というお祭りには，ドイツ中から 60 万人もの人が集まり，アニメやマンガのコスプレをしている人たちで溢れるほど、デュッセルドルフ=ジャパンのイメージが定着しています。

私はリクルーターという職業上，ドイツ人ほか外国の方々にも日系企業の求人を案内することが多いのですが，日本人や日本に対し「丁寧で親切」という印象を持っている方が多く，そう聞くたびに嬉しく思っています。そういう評価を作り上げてきた先人達へとても感謝をしています。ただ，日本人とコミュニケーションを取ったことのある方々については，戸惑いを感じたという方も多いようです。日本では重要視されがちな「空気を読む」「会話の行間を理解する」といったことはドイツでは一般的ではなく，「ダイレクトに意見を言う」ということが多数派です。働き方についても，働く時は合理的に働くけれども，残業は基本しません。上司が帰らないので帰れないという人は1人もいないでしょう。年30日程度の有給をその年に使い切ることが前提で，この有給日数に病欠は含まれません。2 週間～3 週間続けてのホリデーを取り，さまざまなところへ旅行をし，しっかりとワークライフバランスをとるという印象です。

休暇の理由を上司から部下に聞くことはしてはいけないこととされており，有給取得も簡単にできます。例えば，取引先の担当者が「明日から休暇に入るので現在進んでいるプロジェクトへの返信は 2 週間後になります」と言っても「良いホリデーを!」と言って終了。

現在インフレやエネルギーコストの高騰が日々叫ばれており，賃上げを望む従業員たちのストライキや労働組合の働きによって10%近い昇給を実現しているドイツ企業もあります。こうした姿を見ていると，ドイツ人にとって権利というのは「勝ち取ってきたもの」なのだという印象を強く感じます。

自分自身に対する権利に意識を強く持ちすぎると，個人主義に繋がっていくけれども，空気を読みすぎると，同調圧力が生まれる。世の中というものはバランスだなと思わずにいられません。

私の仕事では，日本にいる方をドイツにある日系企業で募集している求人案件へご紹介をすることもあります。その場合はどうしても経験者やドイツ語ができることが重視されますが，ドイツは日本人にとってヨーロッパの中で最も就労ビザを取りやすい国であり，ワーキングホリデーやオペアビザを活用して渡独された後に職を得て，就労ビザを取得した方々も多くいらっしゃいます。

海外で生活をするというのは大変なことも多々ありますが，体験して初めて見える世界も数えきれない程あり，それらは必ず自分だけの宝物として人生に蓄積されるものと思います。今後，鹿児島出身の方のドイツにおける就業のお手伝いや，鹿児島県内企業のドイツ進出に伴う人材関係のお手伝いができることがあれば，リクルーター冥利に尽きます。

デュッセルドルフを流れるライン川沿いの様子

日本語の道路標識

和田 由紀子 さん（ドイツ デュッセルドルフ在住）

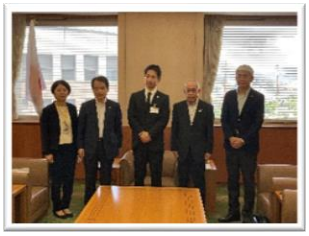
鹿児島県立開陽高等学校，iBS 外語学院卒業。

卒業後は，イギリス，ノルウェー，へ留学し，ベトナム，東京等で勤務した後，2021 年11月からドイツ西部のデュッセルドルフで人材紹介業の JAC Recruitment Germany にて勤務。

鹿児島県青年海外協力隊を支援する会　鹿児島市

◆鹿児島県青年海外協力隊を支援する会とはどのような団体ですか？

鹿児島県と青年海外協力隊鹿児島県 OB 会が中心となり，県内各界各層に呼び掛け，昭和 63 年 10 月に，若者が青年海外協力隊に参加しやすい環境作りを目指し本会が発足しました。本会は，鹿児島県や市町村，各種団体，企業等の法人会員と多くの個人会員により運営されています。



青年海外協力隊員表敬訪問の様子

◆どんな活動をしていますか？ また，県民の方はどのように関わることができますか？

① 青年海外協力隊の募集活動への協力、隊員の出発・帰国時の知事表敬同行
② 派遣中隊員の支援と帰国隊員の進路相談
③ 「協力隊 OB と留学生が先生」教育プログラムや「鹿児島県青少年国際協力体験事業」の実施
④ 国際協力講演会や帰国隊員報告会の開催
⑤ 県民から寄せられる開発途上国への支援の橋渡し
⑥ 会報「積乱雲」と協力隊月刊誌「クロスロード」の配布　ほか

県民の皆様には、上記③、④、⑤の活動への参加及び新規会員加入を歓迎いたします。

「鹿児島県青少年国際協力体験事業」の活動の様子

◆県民の方へメッセージをお願いします。

開発途上国で暮らし、そこに住む人々と共に汗を流し地域の発展のために活動する青年海外協力隊員への温かい支援と理解を引き続きお願いいたします。

鹿児島県青年海外協力隊を支援する会
鹿児島市卸本町 8 番地 20　弓場貿易（株）内　TEL：099-268-9711　FAX：099-268-1353

かごしま の 国際交流団体紹介

鹿児島県青年海外協力隊を支援する会の理事で，いっしょき学校を作いもんそ会の会長でもある
弓場秋信さんが
2022 年度鹿児島県民表彰を受賞されました!!

いっしょき学校を作いもんそ会　鹿児島市

◆いっしょき学校を作いもんそ会とはどのような団体ですか？

1996 年一本の電話で始まりました。「父親の遺したお金を送金するので，迷惑な話だけど勉強をしたくともその環境が整っていない子供達のために学校を作ってほしい。」 直接会いたい旨を伝えても叶わず，電話で開発途上国の教育現場の状況を説明すると，お父様の遺産を受け取った兄弟 3 名から驚くほどのお金が急遽新たに本会の名義で開設した銀行口座に振り込まれました。その気持ちに沿って，就学率が低く，国際社会からの援助も乏しいカンボジアの教育に活用することを決め，カンボジアで青年海外協力隊員として活動した帰国隊員を派遣し，地域の人と一緒に校舎建設を始めたのが始まりです。

◆どんな活動をしていますか?また，県民の方はどのように関わることができますか？

カンボジアで地域の子供達が教育を持続的に受けられる環境作りの為の活動を行ってきました。

① 校舎・図書館・乾期用貯水池・トイレの建設　② 教員養成学生への奨学金支給
③ 自立支援の為の家庭菜園普及活動　④ 運動会普及活動と鹿児島県民との交流
⑤ 現地教師の研修招へい　⑥ 鹿児島でのパネル展開催

家庭菜園普及活動の様子

◆県民の方へメッセージをお願いします。

勉強をしたくてもできない環境下にいる子供たち。私たちにもできることがあるのでは。
少し立ち止まって考えてみませんか。

いっしょき学校を作いもんそ会
TEL：090-5470-2748　Email：maru39comi@hotmail.com

JICA デスク鹿児島からのお知らせ！

～JICA 市民公開講座を開催します！～　主催：鹿児島県 JICA 派遣専門家連絡会

「インドネシアにおける持続可能な教育に関する活動」

講師：　石橋　康弘　教授

熊本県立大学環境共生学部

JICA 専門家として、過去にインドネシアをはじめ、チリ、大洋州などでも活動経験あり。主な専門分野は、環境化学、環境循環化学。

2023 年 1 月 21 日(土)

会場：鹿児島市国際交流センター
1 階多目的ホール

鹿児島市加治屋町 19-18
【市電】「甲東中学校前」近く

時間：15:30～17:00

参加費：無料　/　予約不要

JICA デスク鹿児島 担当:仮屋　TEL:099-221-6624　(公財)鹿児島県国際交流協会内

がいこくじんそうごうそうだんまどぐち

外国人総合相談窓口

鹿児島にお住まいの外国人の方のための相談窓口です。生活，在留資格，労働，医療，福祉などで困ったことがありましたら，お気軽にご相談ください。

対応言語　：　日本語/英語/中国語/韓国語/ベトナム語/タガログ語/インドネシア語/ネパール語/クメール語/タイ語/ミャンマー語/ポルトガル語/スペイン語/マレー語/フランス語/ロシア語/ドイツ語/イタリア語/モンゴル語/シンハラ語/ヒンディー語/ベンガル語/ウクライナ語

鹿児島県国際交流協会内
TEL：０７０－７６６２－４５４１
E-mail：kiasoudan@gmail.com
Facebook

本誌・掲載内容に関する問合せ・申込み先

公益財団法人鹿児島県国際交流協会
（ 火曜～日曜　9：00～17：00 ）
〒892-0816 鹿児島市山下町14-50
かごしま県民交流センター1階
Tel: 099-221-6620 Fax: 099-221-6643
URL: https://www.kiaweb.or.jp/
Email: kia@kiaweb.or.jp
Facebook: https://www.facebook.com/Kagoshima.Intl.Assoc

「国際交流ひろば」は，ホームページにも掲載しています。ご自由にダウンロードしてください。